

実務経験にある教員等による授業科目の一覧表

課程名	学科名	授業科目	授業時間数	実務経験にある教員による授業科目	シラバス	備考	
教育・社会福祉専門課程	こども未来本科（2年制）	こども演習	60	○	○		
		保育技術	60	○	○		
		体験実習Ⅰ	40	○	○		
		保育実習Ⅰ	40	○	○		
		保育実習Ⅱ	120	○	○		
		施設実習	80	○	○		
				総時間数	400		

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
こども演習	2単位(60時間)	演習・実技

(授業のテーマ)

表現活動の基礎と応用を学び、保育現場で質の高い実践力を発揮する

(授業の概要)

多面的な表現活動を学び、企画、製作、発表を通して総合的な表現力を養う

(授業計画)

- 1・2 授業概要の説明や内容確認
- 3～12 オリジナルネームプレートの製作・発表(一人ずつ作品への思いを発表する)
- 13～24 絵本・紙芝居の教育的意義と成長に必要な価値を知り、教材の精選や基本的な実演方法を学び、学生一人ずつ発表を行い個別指導で実践力を高める
- 25～34 園行事や学級活動の中で活躍する「すきま遊び」の様々な技術を習得し、実践力を養う(個人やグループ発表を行い、個別指導をする)
- 35・40 郷土(沖縄)の童歌とリズムダンスを学び、楽しく表現する技を身につける
- 41～46 ペープサート製作と演出の基本を学び、オリジナルのペープサート製作と発表(製作・演出の個別指導を行う)
- 47～60 オリジナルの劇遊びの企画・演出・製作・発表
各グループで劇遊び(オペレッタ)について考案し研究を深め発表する
(ねらい・伝えたい思い・内容・台本・配役・役者の動き・セット配置・舞台美術等)

(参考書・参考資料)

こどもの文化研究所「紙芝居 演じ方のコツと基礎理論のテキスト」 一声社

紙芝居文化の会「紙芝居白科」 童心社

徳永満理「よくわかる絵本読み聞かせ」 チャイルド社

「ふだんの保育を発表会につなげる 0～5 歳児たのしい劇遊び」 池田書店

佐々木昇「0～5 歳児の非認知的能力」 チャイルド社

阿部恵「すきま時間あそび 107」 すずき出版

高江洲義寛「沖縄のわらべうた」 沖縄文化社

白井三根子「子どもの心を動かす指導法」 ナツメ社

その他 講師作成の資料

(学生に対する評価)

試験は実施せず、個人の仕上がった作品やグループでの発表の出来をみて評価をおこなう。
また出席状況や授業態度も考慮し評価する。

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
保育技術	2単位(60時間)	演習・実技

(授業のテーマ)

保育の現場で活かせる様々な表現技術を修得し、幼児一人一人の「資質・能力」の指導法を学ぶ

(授業の概要)

表現方法の基礎を学び、教材の精選や製作・実演を行い、総合的な表現力を培う

(授業計画)

- 1・2 授業概要の説明や内容確認
- 3・4 手遊び・年齢別の遊び方
- 5～8 絵本・紙芝居について知る・読み方や選び方について実践練習を行う
- 9～12 折り紙の基本・年齢別と季節の遊び方
- 13・14 新聞紙遊びの基本・年齢別と季節の遊び方
- 15・16 ハサミとりの指導の基本
- 17～20 画用紙製作(基本と応用)・年齢別の遊び方
- 21～28 描画指導の基本と応用・年齢別の遊び方
- 29～36 パネルシアター製作と実演の基本と応用 (一人ずつ発表と個別指導を行う)
- 37～42 エプロンシアター製作と実演の基本と応用 (一人ずつ発表と個別指導を行う)
- 43～44 ペープサート製作と実演の基本と応用 (一人ずつ発表と個別指導を行う)
- 45～48 手袋人形と手遊びの基本と応用、実演・年齢別の遊び方(一人ずつ発表を行う)
- 49～50 身体表現の基礎・年齢別の表現遊び
- 51～52 リトミック遊び・年齢別の遊び方
- 53～54 楽しい楽器遊びの指導・年齢別の遊び方
- 55～58 保育現場で実施する行事の意義・目的・ねらい・育ち・展開と継続の理解
- 59～60 季節や行事に即した環境構成(園内外・行事等の壁画・中心的な壁画)

(参考書・参考資料)

徳永満理「よくわかる絵本読み聞かせ」 チャイルド社

古橋和夫「保育者のための言語表現の技術」 萌文書林

阿部直美「園行事 資料と展開」 チャイルド社

白枝義雄 白枝知亜紀「モンテッソーリの紙遊び」 PHP研究所

かわはらあみこ「手袋シアター」 ナツメ社

その他講師作成の資料

(学生に対する評価)

試験は実施せず、個人の仕上がった作品や発表の出来をみて評価を行う。

また出席状況や授業態度も考慮し評価する。

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
体験実習 I	1単位(40時間)	実習

(授業のテーマ)

様々な保育や教育の現場を体験する

(授業の概要)

体験実習は選択制(認可外保育園 インターナショナル保育園 小学校)とし、希望する施設で体験実習を行なう

実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする

(授業計画)

各施設の役割を知る

実習に向けての心構えを理解する

実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行い、実習先の施設の概要を知る

保育や教育を観察したり、体験したりして、1日の流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

保育士や先生の配慮事項を知り、職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

教育実習事前・事後指導(小学校)

講師配布資料

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習感想簿20%

実習事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
保育実習 I	1単位(40時間)	実習

(授業のテーマ)

保育を実際に体験することで、保育士の職務を理解をする

(授業の概要)

保育実習 I は、基礎実習として保育所での保育を体験的に学ぶ

実習の形態は観察・体験を主体とし、1日8時間の5日間・計40時間とする

(授業計画)

保育所の役割を知る

実習に向けての心構えを考える

保育実習の流れと目的や諸注意を理解する

実習感想簿の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の保育所と事前にオリエンテーションを行ない、実習先の保育所の概要を知る

保育を観察したり、体験したりして、保育の流れや乳幼児の生活や遊びの実態を知る

保育士の配慮事項を知り、保育士という職務について理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行なう

(参考書・参考資料)

保育所保育指針

幼保連携型認定こども園教育要領

実習ワーク

(学生に対する評)

実習先の保育所の評価60%

実習感想簿20%

事後指導への取り組み方20%

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
保育実習Ⅱ	1単位(120時間)	実習

(授業のテーマ)

保育実習Ⅰで学んだことをふまえて、保育実習Ⅱでは幼児理解と保育士の専門職についてさらに深い学びと理解を目指す。

(授業の概要)

保育所に関する知識、実習の意義やあり方と幼児理解を学ぶ。実習後は自己評価をし、自己の課題を知り将来の保育士としての自覚を得る。

保育実習Ⅱは保育所において、基本的に1日8時間の15日間・計120時間とする。

(授業計画)

保育所の役割を理解する

乳幼児の最善の利益について学び、幼児理解に努め実践する

実習に向けての心構えを考える

保育実習の流れと諸注意を理解する

指導計画の作成について理解する

実習日誌の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の保育所と事前にオリエンテーションを行ない、実習先の保育所の概要を知る

保育に参加し、保育の流れや乳幼児の生活や遊びの実態を知る

保育士の配慮事項を知り、保育士という専門職の理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りの授業を行う

(参考書・参考資料)

保育所保育指針

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

実習ワーク

保育の計画と評価を学ぶ

(学生に対する評価)

実習先保育所からの評価60%

実習感想簿20%

事後指導への取り組み20%

授業科目名(担当者 西原美津江)	単位数	学習形態
施設実習	1単位(80時間)	実習

(授業のテーマ)

保育所以外の児童福祉施設を知り、児童福祉施設での保育士の役割への理解を深める

(授業の概要)

保育士が働くことができる施設について理解を深め、実際に施設での保育士の職務の役割を知る。また 福祉施設での子どもの様子を知る。

(授業計画)

児童福祉施設の役割を理解する

実習に向けての心構えを考える

施設実習の流れと諸注意を理解する

実習日誌の意義を知り、記録方法について学ぶ

実習先の施設と事前にオリエンテーションを行ない、実習先の施設の概要を知る

施設での流れや子ども達の生活や遊びの実態を知る

施設での保育士の配慮事項を知り、保育士という職務の理解を深める

実習終了後に感想や反省・気づきなど、実習の振り返りを行う

(参考書・参考資料)

実習ワーク

より深く理解できる施設実習

(学生に対する評価)

実習先施設の評価60%

実習日誌20%

実習事後指導への取り組み方20%